



校長室だより 足立区立第九中学校

第127号 令和2年3月17日発行 長塚琢磨



【2日後は卒業式！ 最高の日に！】

いよいよ2日後は、卒業式です。卒業生の皆さんは、3年間、本当によく頑張ってくれました。その雄姿に敬意を表し、生徒、教職員、保護者、ご来賓の皆様で**厳粛かつ盛大で感動的な卒業式**を創り上げたいと考えていました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の関係から、卒業生と教職員、保護者1名だけの卒業式になります。規模は縮小しますが、「磨く」「挑む」「思いやる」実践を通して**鍛えた心身や情熱**など、第九中学校としての**誇り**をもち、今までで**最高の卒業式**を創り上げたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。



この3年間、卒業生は自覚と誇りをもって、さわやかで礼儀正しい生活態度、運動会や文化祭などでみせた立派な姿など学校のリーダーとして活躍してくれました。その姿を見てきた1・2年生は、卒業式に参加することはできませんが、第九中学校の素晴らしい伝統と誇りを受け継ぐ者として、卒業生を心から祝福するとともに、さらに進化・発展させてくれると考えています。

【3月5日 九中PTA 広報紙：最優秀賞に輝く！】

第九中学校の教育活動を支えるPTA、その活動を全保護者や地域の皆様に伝え、さらなる充実と発展を広く呼びかけてくださっているPTA広報紙「九中魂 ∞ (無限大)」が、広報紙コンクールで**最優秀賞**に輝きました。会長や委員長をはじめPTAの心が一つになった成果として感謝するとともに、心から喜びたいと思います。



【3月に贈る詩③】

「磨き」「挑み」「思いやる」素敵な卒業生に、敬意を表してこの詩を贈ります。

おまえが 入学したときは
まるで かよわい苗木のようだった
枝もなし そして葉もなかった
けれども 今日おまえを見るととき
大きなおどろきに 胸がうたれる
おまえの幹はしっかりとし
さしかわす智恵の枝々
風にそよぐやさしい感情の茂り
ああ この美しき成長を誰がくれた
わたしは おまえと一緒に
このすばらしい恵みに
心から感謝しよう

樹

草野四郎

【卒業おめでとう！ 地域の皆さんの思い！】

3月5日（木）に予定していた地域による「三年生を送る会」は中止になりましたが、12日（木）に地域の皆さんからの卒業記念品が届きました。青少年対策第十地区委員会の太齋会長は、「三送会が中止になったことは大変残念なことです。地域住民が卒業を祝う心や気持ちは変わりません。また、九中生の輝かしい未来を期待しています。」と話してくれました。



卒業生へのプレゼント

九中生や第九中学校は、いつでも地域から見守られており、地域から愛されていること、そして次代の形成者として期待されていることをしっかり受け止め、自ら進んで、自分・九中・地域社会をさらに発展させていきましょう。みんなの心が一つになると素敵な未来が拓けます。

【令和2年度の準備！ 知・徳・体の充実！】

あと約3週間で令和2年度が始まります。3年生は高校等で、1・2年生は進級して、素敵なスタートを迎えてほしいと考えています。既に、課題等が出ている場合には、忘れ物等がないようご指導をよろしくお願いいたします。また、人の成長に重要な柱といわれている「知・徳・体」を充実させるために次の3点を見直してみてください。



「東京都教育ビジョン」より

- 学校における**学習態度**（先生の話聴く、仲間と真剣に学び合う等）を養う、家庭における**学習習慣**（1日一時間以上）の確立
- 人や自然と触れ合い「感激や感動」「挨拶、思いやり、助け合い」などの豊かな**人間性を磨く体験活動**の実施
- 「早寝・早起き・朝ごはん」等の**生活習慣**の確立、運動・スポーツや手伝い等の身体活動を含む**運動習慣**の確立



【3月に贈る詩④】

令和2年度を自らの意志と行動で素敵にしていく全ての生徒に、次の詩を贈ります。

目 標

力強く歩きたいと思った
くたびれて疲れ果てて
自分に負けそうになりながら
幾たびも幾たびも思い直して
もっと力強く進みたいと願った
そして新しい年が来ると
その新しい年が笑いかけてくれた
汚れていない新鮮な風と光が
いつでもむこうから声をかけてくれた
きみ 目標はきみが選んだのだよ
だからたとえきみが目をつむっても
その目標は決して消えないのだよ
自分で選んだ一つの大事な目標が
むこうから私たちを救ってくれるのだ

宮沢 章二